

## 平成30年度福島県献血推進計画実績（抜粋）

（平成31年3月末現在）

### 第1 平成30年度に献血により確保すべき血液の目標量

#### 1 献血により確保すべき血液の目標量

##### （1）需要見込量

平成30年度の輸血用血液製剤は赤血球製剤106,780単位、血漿製剤<sup>しょう</sup>29,070単位、血小板製剤120,130単位が必要と見込まれる。

##### （2）献血目標量

東北六県で必要とする血液（原料血漿<sup>しょう</sup>を含む。）を各県で按分して確保するため、平成30年度に献血により本県において確保すべき血液の目標量を、200mL献血が427リットル、400mL献血が20,232リットル、血漿成分献血<sup>しょう</sup>が4,855リットル、血小板成分献血が5,326リットルの計30,841リットルとする。

#### 計画に対する実績（平成31年3月末現在）

（前年達成率）

200mL献血： 464.00L 達成率 108.7%（112.6%）  
 400mL献血：20,857.60L 達成率 103.1%（103.8%）  
 血漿成分献血： 5,001.22L 達成率 103.0%（103.8%）  
 血小板成分献血： 4,859.55L 達成率 91.2%（102.2%）  
 合 計：31,182.37L 達成率 101.1%（103.7%）

原料血漿確保量：70,071.42L 達成率 98.1%（101.4%）

\* 原料血漿確保量及び達成率については、東北ブロックにおける実績

### 2 全血献血及び成分献血の実施方法

#### （1）全血献血（200mL、400mL）

全血献血は、県内の各市町村を巡回する福島県赤十字血液センター（以下、「血液センター」とする。）の移動採血車による確保を主体とする。血液センター（固定施設）においては、Rhマイナス型や緊急時の全血献血への対応と併せて、通常的全血献血、特に400mL献血の確保にも対応する。

#### 計画に対する実績（平成31年3月末現在）

（単位：L）

	移動採血車 (市 町 村)	血液センター	合 計
目 標	16,493	4,166	20,659
全血献血量	16,957.2	4,364.4	21,321.6
目標達成率	102.81%	104.76%	103.21%

## 第2 前節の目標量を確保するために必要な措置に関する事項

### 1 献血に関する普及啓発活動の実施

#### (1) 献血推進キャンペーン等の実施

県は、特に必要性が高い400mL献血及び成分献血の推進及び普及のため、7月に「愛の血液助け合い運動」を、1月から2月までに「はたちの献血キャンペーン」を実施する他、血液の供給状況に応じて献血推進キャンペーン活動を緊急的に実施する。また、様々な広報手段を用いて、県民に献血への理解と協力を呼びかけるとともに献血場所を確保するため、関係者に必要な協力を求める。

#### 愛の血液助け合い運動（7月1日から同月31日まで）

##### 実施状況

- 県内全域において、別紙のとおり運動を実施した。

(人)

月 日	市 名	献血者数	200mL	400mL
7月 1日 (日)	福島市			
7月 8日 (日)	南相馬市	149	2	147
7月10日 (火)	相馬市	72	0	72
7月12日 (木)	白河市	160	23	137
7月15日 (日)	二本松市	89	2	87
7月15日 (日)	喜多方市	75	6	69
7月16日 (月)	郡山市	71	12	59
7月20日 (金)	田村市	85	0	85
7月22日 (日)	本宮市	111	7	104
7月22日 (日)	会津若松市	46	3	43
7月22日 (日)	いわき市	152	6	146
7月29日 (日)	須賀川市	101	6	95
7月30日 (月)	伊達市	167	1	166
計		1,278	68	1,210

#### はたちの献血キャンペーン（平成31年1月から同年2月まで）

##### 実施状況

- 市町村等関係機関に対して、文書等による事業の協力依頼を行った。
- ポスターを市町村、高等学校、福島県献血推進協力会等に配布した。
- ラジオの県政広報番組や新聞を活用した広報等を行った。

## (2) 若年層の献血への理解を深めるための普及啓発

県、市町村及び血液センターは、地域の実情に応じて、若年層の献血への関心を高めるため、学校等に対して、ボランティア活動である献血について情報提供や学生献血推進ボランティア等の同世代からの働きかけの支援を行う。

### 実施状況

- 平成30年6月14日の世界献血者デーに県内各高等学校において、県及び血液センターから、輸血医療の現状や献血の必要性について説明した献血推進メッセージCDによる放送への協力を依頼した。

## 2 献血功労等の顕彰

(1) 県は、献血事業に功労のあった団体又は個人に対して福島県知事感謝状を贈呈する。

### 実施状況

- 平成30年10月17日に杉妻会館で行われた平成30年度健康ふくしま21推進県民表彰式において、献血事業功労知事感謝状を13団体に贈呈した。
  - 1 東北ミドリ安全工業株式会社 (石川町)
  - 2 東京下田工業株式会社 福島工場 (石川町)
  - 3 第一精機株式会社 浅川工場 (浅川町)
  - 4 大同化工株式会社 浅川工場 (浅川町)
  - 5 福島県立白河旭高等学校 JRC委員会 (白河市)
  - 6 株式会社川金ダイカスト工業本社工場 (白河市)
  - 7 ライオンパッケージング株式会社 (矢吹町)
  - 8 山形印刷株式会社 (矢吹町)
  - 9 福島県立相馬高等学校 (相馬市)
  - 10 私鉄福島交通労働組合 福島支部 (福島市)
  - 11 森永乳業株式会社 福島工場 (福島市)
  - 12 一般財団法人脳神経疾患研究所附属総合南東北病院 (郡山市)
  - 13 一般財団法人太田総合病院附属太田西ノ内病院 (郡山市)

(2) 県は、各市町村の協力を得て、国が開催する献血運動推進全国大会における厚生労働大臣表彰等に対し、積極的に該当団体等を推薦する。

- 第54回献血運動推進全国大会における厚生労働大臣表彰状候補者として3団体、同感謝状候補者として8団体を推薦し、受賞した。

なお、平成30年7月25日に福島県赤十字血液センターにおいて表彰状等の伝達式を行った。

1 厚生労働大臣表彰状（3団体）

林精器製造株式会社 経営本部兼須賀川事業所 (須賀川市)

白河オリンパス株式会社 (西郷村)

東邦亜鉛株式会社 小名浜製錬所 (いわき市)

2 厚生労働大臣感謝状（8団体）

目黒プレス工業株式会社福島第一工場 (棚倉町)

株式会社日東発條 白河工場 (西郷村)

株式会社 緑マーク 福島工場 (矢吹町)

公益財団法人星総合病院 (郡山市)

日東電工株式会社 (いわき市)

小名浜石油株式会社 (いわき市)

株式会社ヨークベニマル 二本松インター店 (二本松市)

福島県立好間高等学校 (いわき市)